

徳島市民病院

経営強化プラン (H27~H31)



(H27~H32改定案)



H29.12.25(月)

徳島県地域医療構想調整会議



Tokushima Municipal
Hospital

現状と課題

現状と課題

本院は、急性期を担う中核病院として、医療の質の向上と社会ニーズのある高度医療の提供に努めるとともに、公立病院として、不採算医療・政策医療に積極的に取り組んでおります。

《本院の抱える課題》

- 政策医療を継続するための経営基盤の安定化
- 特色ある高度先進医療を担う専門医及び専門資格を持つ医療スタッフ・事務職員の確保と養成
- 地域の医療機関、介護施設等と連携し、包括ケア支援強化
- 医療安全管理体制の確立



今後、地域において 担うべき役割

第7次医療計画

5疾病・5事業及び在宅医療について

【5疾病】

- **がんの医療体制**
- 脳卒中の医療体制
- 心筋梗塞等の心血管疾患の医療体制
- 糖尿病の医療体制
- 精神疾患の医療体制

【5事業】

- **救急医療体制**
- **災害医療体制**
- へき地医療体制
- **周産期医療体制**
- 小児医療体制

【在宅医療】

- 在宅医療の体制



徳島市民病院：役割分担の明確化

- 国の掲げる政策医療（5疾病・5事業）
 - － がん医療、周産期医療、救急医療（二次）、災害医療等
- 高齢化社会の医療ニーズへの対応と社会復帰支援
 - － 関節機能障害の改善に向けた多職種チーム医療
- 地域包括ケアシステム構築に向けた支援対応
- 地域医療に必要な医師、医療スタッフの養成

急性期医療を担う中核病院として、地域医療の一翼を担う



今後、提供する 医療機能

第3期がん対策推進基本計画（平成29年10月～）

1. 患者本位のがん医療の実現

- (1) がんの手術療法、放射線療法、薬物療法、免疫療法
- (2) チーム医療
- (3) がんのリハビリテーション
- (4) 支持療法
- (5) 病理診断
- (6) がん登録

2. 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

～がんになっても自分らしく生きることのできる地域共生社会を実現する～

- (1) がんと診断された時からの緩和ケアの推進
- (2) 相談支援及び情報提供
- (3) 社会連携に基づくがん対策・がん患者支援
- (4) がん患者等の就労を含めた社会的な問題（サバイバーシップ支援）
- (5) ライフステージに応じたがん対策

3. 基盤整備

- (1) がん研究
- (2) 人材育成



徳島市民病院：政策的な重点取り組み

がんの医療体制

がんセンター (H27.04 設置)

- ・ 地域がん診療連携拠点病院の指定 (H22.03) がん登録、がん相談、外来化学療法室
- ・ 緩和ケア病棟(24床)として認可 (H29.06) 腫瘍精神科医、臨床心理士、緩和ケア医師
- ・ がんリハビリテーション (リハ専門医) の導入、がん患者の就労支援 (H28.05より)

周産期医療体制

地域周産期母子医療センター (H23.04 認定)

- ・ 母乳外来の開設 (H28.09)
- ・ 妊よう性温存腫瘍外来の開設 (H29.04)

救急医療体制

救急車受入 (2,250件) 救急患者数 (8,938人) (H28実績)

- ・ 二次救急医療体制を継続し、救命治療を多診療科連携にて対応強化

災害医療体制

DMAT (災害派遣医療チーム) (2隊、12人)

- ・ 災害拠点病院・徳島DMAT指定病院 (H24.03)



徳島市民病院：重点的な取り組み

高齢化対応

脊椎・人工関節センター (H24.04 設置)



関節治療センター (H30.04 改名予定)

- ・ナビゲーションシステムによる高度な関節手術と周術期の感染対策の徹底
- ・リハビリ専門医による早期のリハビリ計画により生活の質の維持・向上を図り社会復帰へ
- ・関節リウマチや関節障害を来す膠原病患者に対して高度薬物療法、機能回復手術、リハビリ療法を実施

医療・介護等連携

患者支援センター (H27.04 設置)

- ・入退院支援看護師を配置し、医療・介護において切れ目のない医療提供体制の実現

専門医療スタッフ の確保・養成

臨床教育センター (H27.08 設置)

- ・研修病院として、地域の次代を担う専門医療スタッフの養成に努める
- ・院内保育施設の開設 (H30.04 予定) により、働きやすい職場環境を構築



徳島市民病院：病床機能の明確化

	H26.07 (A)	H29.07 (B)	増減 (B - A)	H30.04 (C)	増減 (C - B)
高度 急性期	12	14	+2	14	—
急性期	283	257	△26	257	—
回復期	44	44	—	40	△4
慢性期 (緩和ケア)	0	24	+24	24	—
計	339	339	0	335	△4



診療科

- 内科(呼吸器、循環器、消化器、血液、糖尿病・代謝、内視鏡)
- 外科(呼吸器、消化器、乳腺、大腸・肛門、肝臓・胆のう・膵臓、内視鏡、心臓血管)
- 小児科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、心療内科、精神科、形成外科、病理診断科、臨床検査科、血液腫瘍内科、腫瘍内科、腫瘍外科、腫瘍精神科、婦人腫瘍科、緩和ケア内科

※ 徳島市民病院経営強化プラン(2015)に基づき増設した診療科は赤字



具体的な数値目標

具体的な数値目標（改定案）

	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H 3 2
病床利用率（％）				
【高度急性期・急性期病床】	81.6	83.2	86.0	86.5
【回復期病床】	75.0	75.0	75.0	75.0
【慢性期（緩和ケア）病床】	57.9	70.0	80.0	80.0
【病院全体】	77.2	81.3	84.2	84.7
紹介率（％）	82.0	82.0	82.0	82.0
逆紹介率（％）	85.0	85.0	85.0	85.0
救急車搬送患者数（人／月平均）	200.0	230.0	230.0	230.0
がん手術件数（件／月平均） （件／年）	56.4 (677)	56.9 (683)	57.4 (689)	57.9 (695)
分娩件数（件／年）	660	660	660	660
関節治療センター 手術件数（件／年）	550	550	550	550



今後の方向性

徳島市民病院の医療提供体制

徳島県地域医療構想に基づく東部医療圏での医療需要を踏まえ、病院・施設間の連携と病床の機能分化をより一層進め、公・民の適切な役割分担のもとに、

- 政策医療としてのがん医療、周産期医療、救急医療、災害医療などを重点課題として位置づける。
- 少子高齢化社会に伴い変化する疾病構造に対し、特色ある高度先進医療を地域医療支援病院として継続的に提供する。
- 今後、効率化、最適化の視点から病床機能を見直し、経営安定化のために必要病床数の数値目標を設定していく。